

図書館 だより

No.331

発行・編集：市立飯山図書館
長野県飯山市大字飯山 1421 番地
電話・FAX：0269-62-1118
URL：http://tosho.city.iiyama.nagano.jp
2006年（平成18年）10月15日発行

開館時間と休館日

〈開館時間〉火～金 9:30～18:00
土・日 9:30～17:00
〈定休日〉月曜日・祝祭日・年末年始

休館日カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
10月	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
11月	30	31	1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19

■の日は休館です。

らいぶらりいブックレビュー

こんなものもあります

旬の本・話題の本・意外な本

白狐魔記 戦国の雲
斉藤洋 著（偕成社）



白狐魔記の4作目。児童書ですが大人も楽しめます。人間に化けることが出来るようになった狐、白狐魔丸が興味を持ったのは、名前も知らなかった織田信長という男と、信長を仇とねらう男。白狐魔丸の目から描かれる戦国の人間たち。年表もついて時代背景もわかります。



→講師の下沢洋子先生

絵本の世界を!!

絵本の世界を!!

8月27日、「ご一緒に楽しみませんか。絵本の世界を!!」と題し、読み聞かせ講座を行いました。参加者は29名。講師は飯田市立上郷図書館長下沢洋子先生。先生は児童サービスの専門家で、子どもの読書活動推進のために県内各地で講演を行っている方です。

講座の前半は講義。後半は、小グループに分かれて読み聞かせを発表しあったり、代表者が全員の前で発表したりする、実技の時間となりました。

下沢先生の優しい声と素敵なお話の中、絵本の世界

に誘われた、とても楽しい講座となりました。

『先生のお話から』

■読み聞かせの目的

読み聞かせをするとき、教師、保育士、読み聞かせボランティア、図書館員など、子どもに関わるすべての大人は、「ただ本を読んでも聞かせればいい」という考えではいけません。未来を背負うこの子どもたちを、どう育てていくのか、考えながら関わっていくことが必要です。

読み聞かせは、子どもを本好きにするとか、説教をするとか、知識を増やすと

同じお話でも、お話を聞いてるときと比べて、ビデオなどによって「機械の音」で聞いているときは、子どもの脳波反応が鈍いそうです。また、テレビやビデオを多く見せられている子どもは、言葉の遅れや、話す相手と視線を合わせないという臨床実験の結果もあります。10時間以上テレビのついた部屋で寝かされている赤ちゃんの、96%が話す

相手と目を合わせられないというのです。現在、テレビが普及し、他に家族もいる中で、テレビをつけたいというのは難しいでしょう。そんな中、「幼少期はテレビを控えよう」という提言が出されました。

■読み手は黒子

お話会は、子どもたちに良い絵本と出会わせてあげられる、とてもいい機会です。本の読み手はあくまで黒子。脇役に徹することが大切です。派手な服装や、大きな動きなどは読み手が目立ってしまい、子どもたちは、本でなく読み手に集中してしまいます。優れた本を選べば、何もなくても



←受講生の皆さん



→グループに分かれて読み合いました

■読む力は生きてきます

「活字を読まない子どもではなく「活字を読めない子ども」が増えているのは、周りの大人が、質の高い幼年童話を子どもに出会わせていないからです。優れた幼年童話に出会えば、子どもが心の中でお話を消化することができ（理解することができ）、その世界を楽しむ力がついてきます。選書はとても重要です。

『読む力は生きてきます』(脇明子 著 岩波書店 刊)を参考に。

■子どもが理解できる本を選ぼう!

事柄が、文章できちんきちんと書かれている本、子どもが理解できる本を選びましょう。大人にしか理解できないような心の動きを、行間で読み取らなければならぬ絵本などは、小さい子どもに向きません。『えほんのせかい』(松岡享子 著 日本エディタースクール出版部 刊)の、最後にリストアップされている本は、優れたものばかりですので参考に。

■事前の準備を

ボランティアで読み聞かせする皆さんは、きちんと研修、練習しましょう。事前の打ち合わせはもちろん必要。現地集合してみたら、同じ本を選んだ人がいたとか、依頼された時間を30分もオーバーしたなんてこともあり得ます。こんなことでは、子どもたちに失礼になるばかりか、やる意味がありません。

本の持ち方、ページのめくり方、声の出し方、姿勢、立ち方、字の追い方などにも注意しましょう。

『シリーズわたしのおすすめの本』紹介します

チームバチスタの栄光

海堂 尊 著 (宝島社 刊)



飯山地区 森 由美さん

本好きな友人から、「とにかく面白いから読んでみて」と薦められたのがこの作品でした。もともとミステリーが大好きでしたし、たまたま「バチスタ」という医療用語をTVドラマで知ったばかりだったので、なおさら読んでみたいという興味も湧きました。

医療現場を扱うというところで、もっと難解な内容なのかと思っていました。登場人物の、外見も立場も全く正反対な医師二人と探偵役の奇妙な厚生労働省の役人の登場で、この小説

はコメディ?とも思えるほど面白く、また医療現場のリリティとコミカルな展開が楽しくて一気に読んでしまいました。

「しかし医療小説って書くまでに取材や下調べがいへんだろなあ」と余計な心配をしていましたが、読み終えてから作者のプロフィールを読んで、作者が「現役勤務医」だということを知って、「なるほどなあ!」と思わず納得。

この本を薦めてくれた友人に感謝メールをしたことは言うまでもありません。

実用

- 御柱祭火と鉄と神と百瀬 高子
- 生き方、六輔の。 永 六輔
- 60歳からのチャレンジ起業津田 倫男
- 新平等社会 山田 昌弘
- 若者はなぜ「決められない」か長山 靖生
- 感動大陸南極 学 研
- 体内スッキリ毒出し生活大森 隆史
- 土壁・左官の仕事と技術佐藤嘉一郎
- はじめの家の基本レッスン主婦の友社
- 30秒でわかる電子のお薬事情村上 祥子
- 三鷹の森ブリヂヤン美術館アイドック徳間書店
- 結婚スピーチ 挨拶秘訣と実例学 研
- 俳句入門 再入門 安部 元氣
- 岡本太郎「明日の神話」 吉村絵美留
- 修復960日間の記録

よみもの

- 王ういごに嫁いでしまった横村 君子
- 自由訳イマジジン J・レノン
- 探偵と怪人のいるホテル芦辺 拓
- 町医北村宗哲 佐藤 雅美
- ダブル 永井するみ
- 名もなき毒 宮部みゆき
- 標榜刑事の二十万の完全犯罪森村 誠一
- 雨女 澤田ふじ子
- 夜のゾンファンデル篠田 節子
- 彼女の命日 新津きよみ
- 空白の叫び上・下 貫井 徳郎
- タックス・シエルター幸田 真音
- 求愛 柴田よしき
- 風の墓碑銘(エピタフ)乃南 アサ
- ブルー・ローズ上・下 馳 星周
- 浮世でランチ 山崎オノコ

新着図書